

# 業務委託仕様書

保健福祉局地域リハビリテーション推進センター  
(担当：企画課 藤井、大阿久 電話：925-5485)

## 1 委託業務名

建築基準法第12条に基づく防火設備の定期点検その他業務委託（COCO・てらす）

## 2 委託期間

契約の日の翌日から令和8年10月31日まで

## 3 委託する業務

本件は、以下の業務を行うものである。

- (1) 建築基準法（以下「法」という。）第12条第4項の規定に基づき、「防火設備」を点検し、その結果を報告する。
- (2) (1)の点検結果において要是正項目がある場合は、「重大な事故等につながる恐れのある事項と対応方法の一覧」を参考に、重大な事故等につながる恐れのある指摘内容があるかを確認し、ない場合はその旨を、ある場合は、想定被害内容、是正方法及び是正に要する概算費用を検討し、その結果を報告する。

## 4 点検の対象施設

点検の対象施設は、別紙1のとおりである。

## 5 点検の対象項目

法第12条第4項に基づき、防火設備を点検する。

## 6 点検の基準

点検の基準は以下のとおりである。

- (1) 法令
  - ア 法第12条第4項
  - イ 法施行規則第6条の2
  - ウ 平成28年5月2日国土交通省告示第723号
- (2) 点検基準
  - ア 「特殊建築物等定期点検業務基準（公共建築物用）」（発行：一般財団法人 日本建築防災協会）
  - イ 「特定建築物定期調査業務基準（2025年改訂版）」（発行：一般財団法人 日本建築防災協会）
  - ウ 「防火設備定期検査業務基準（2025年改訂版）」（発行：一般財団法人 日本建築防災協会）
  - エ 「国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン 令和7年版」（発行：一般財団法人 建築保全センター）
- (3) 参考資料  
「重大な事故等につながる恐れのある事項と対応方法の一覧」（京都市都市計画局公共建築部公

共建築企画課)

## 7 点検の資格

点検者は、次の資格を有していること。

- (1) 一級建築士
- (2) 二級建築士
- (3) 防火設備検査員

※ 契約締結後、速やかに資格者証の写しを保健福祉局地域リハビリテーション推進センター企画課（以下「企画課」という。）まで提出すること。

## 8 貸与品

対象施設の貸与可能な資料、数量及び規格は、**別紙2**を参照すること。また、引渡場所は企画課の執務室、引渡時期は業務着手時、返却時期は業務完了時とする。

## 9 成果品

成果品として、以下の書類を紙2部及び電子データ（エクセル形式）1部提出すること。

- (1) 定期点検記録（点検様式4-1）
- (2) 点検記録表（点検様式4-2-1～4-2-4）
- (3) 点検結果図（点検様式4-3）
- (4) 関係写真（点検様式4-4）
- (5) 重大な事故等につながる恐れのある要是正項目一覧表（点検様式4-5-1）
- (6) 内訳書（参考様式4-5-2）

## 10 その他

- (1) 受注者は、業務の開始前に、着手届、実施工程表、担当技術者通知書を提出し、企画課の承認を受けること。
- (2) 受注者は、点検前に、点検計画、点検経路及び点検日時について、企画課と調整すること。
- (3) 点検に当たり、委託業務以外に、精密調査等が必要な場合は、企画課に報告すること。
- (4) 点検計画書（点検経路、点検箇所及び点検日時が確認できるもの）を企画課に提出し、承認を受けること。
- (5) 受注者は、点検に当たっては施設利用者のプライバシーを尊重し、施設利用者に負担をかけないように配慮すること。
- (6) 受注者は、業務の一括再委託を行ってはならない。
- (7) 受注者は、点検に図面等が必要な場合は、貸与品以外の資料については、自らの負担で作成すること。
- (8) 受注者は、業務上知り得た事項を当該業務に関わるもの以外に漏らしてはならない。
- (9) 本業務委託に関わる委託料は、業務完了後一括で支払う。